

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2012.11.29 97

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11
TEL 090-9973-0941
ホームページ
http://yamadakohei.jp

荻窪団地建替えに伴う土地利用について 党区議団の要望実現！特養ホーム増設が決定



旧荻窪団地（上）
今回の計画該当地域（右）



定員八〇名〜一〇〇名規模 二〇一六年一月完成予定

十一月二十七日に行なわれた保健福祉委員会において、特別養護老人ホームの増設計画が示されました。荻窪団地の建替えに伴い団地内に確保される公益施設用地を活用し、施設整備が行なわれます。

党区議団が数年来、特養ホームの設置要望を続けてきた場所であり、重要な前進です。

土地面積は四一〇〇㎡、定員も一〇〇名規模となり、大規模な施設となります。

一四年十一月に工事着工、一六年一月に開設予定です。

工事の遅れなどを乗り越えて…

当初、この公益施設用地の活用は、障害物の発生、交渉の難航、工事の遅れなどにより、具体的な計画決定まで、大変な困難を伴いました。しかし、一つ一つの課題を乗り越えて、計画決定がされました。今後の特養ホームの待機者対策に、大きな力となります。

党区議団、数年来の要望

党区議団は、荻窪団地の建替えが決まってから、地元のくすやま美紀区議会議員を先頭に、一貫して特養ホームの整備を求めてきました。

私も先の第三回定例会の決算特別委員会で質疑に立ち、特養ホームの実現を求めたところ、設置の方向性が示され、今回の計画決定となりました。

今後の進捗状況は、ニュースなどでお伝えします。

高齢者が安心して住み続けられる区政へ 引き続き、特養ホーム増設に全力

今回、一〇〇名規模の特養ホーム増設が打ち出されたことは重要な前進面です。しかし、杉並区は、緊急性の高いランクAの入所待機者が一〇〇〇名近くとなっています。

現状の設置規模では圧倒的に不足しているのが現状です。さらに、テナポを早め、規模を増やし、設置を進める必要があります。

国有地などを始めとする公有地の活用を積極的に行ない、特別養護老人ホームの増設や認可保育園の増設に全力で取り組むよう、杉並区行政に求めていきます。

選挙に関わる情報を制限

今号の週刊ニュースより、公職選挙法に基づき、選挙に関わる情報が制限を受けます。ご理解とご協力をお願いします。

地域防災力の向上へ 日頃からの訓練が大切 地域の防災訓練に参加 救命処置の方法を普及



緊急時に備え、日頃からの訓練が重要です。引き続き、地域防災力向上のために、取り組みを強めます。

掛け替えのない生命を救うために 応急手当普及員の認定を受けました

東日本大震災以降、地域住民の方々の防災への意識が高まっています。

先日、地元の小学校で行われた防災訓練に消防団（第三分団）の一員として参加しました。

会場では、スタンドパイプやAED（自動体外式除細動器）の操作方法、包帯法、消火器の取り扱い説明などが実施され、私もAEDの使用法、包帯法の説明を行いました。

年配の方と共に、子育て世代の参加者も多く、緊急時にどのような事をするべきか、「応急手当をどのように行なうのか」など、真剣に訓練に取り組んでいました。



AEDの操作方法、早期に心肺蘇生を開始することの必要性について説明中（右）
スタンドパイプ（ポンプを経由せず、放水可能）の使用方法を説明中（上）

育メン日誌

公職選挙法って、ヘン？

選挙が始まると、候補者の名前や顔写真などを掲載することができなくなります。掲載できるのは、限られたポスターや証紙などを貼ったビラのみ...

これっておかしくないですか??? そもそも、選挙とは、有権者にそれぞれの候補者の政策や訴えなどを広く伝えて「信を問う」のが本来のあり方。これだけ制限を受けたら、有権者に伝えたいことも伝わらないと思いたいが...

さて、私も一人の保護者として、子育て支援策にも言いたいことが山ほどあります。が、ニュース上では何も言うことが出来ません。歯がゆい...。本当の意味での少子化対策を切実に求めます。

今こそ、認可保育園を増やすべきですが、誰が増やそうとしているのか、刮目します！



仲良しの従兄弟とベットのショップを見学（右）
三輪車に乗れるように（左）頭に被っているのは、洗濯用ネット（笑）

普通救命講習の際は、声をおかけください！



交付された認定書

先日、24時間の講習と実技・筆記試験を行ない、応急手当普及員の認定を受けました。普通救命講習の指導を行なえるようになります。

区立保育園の民営化進む… 区立西田保育園が民営化

表面で紹介した荻窪団地の建替えに伴い、認可保育所も設置される予定です。認可保育園の増設は非常に重要なことですが、区立西田保育園の民営化がセットで行なわれる見通しです。

現在、様々な手法で民営化が進められていますが、区立保育園が培ってきた様々な役割を踏まえれば、公立保育園は今後も維持することが必要です。行政の責任を弱め、民間投げ出しにも繋がりがねない民営化方針はストップすべきです。

概要

- ・ 区立西田保育園は2015年4月に施設整備・運営法人に運営を移行し、民営化する。
- ・ 運営法人は、公募により選定する。

公立保育園を守るべき